

別表

要求水準書

料金システムは、下記の機能を有する又は要求する水準の代替機能を有すること。

No.	項目	分類	内容	
1	基本事項	1	共通	上水道と下水道の統合管理が可能なこと。また、下水道のみの管理も可能なこと。
		2	共通	年度管理は西暦・和暦のどちらでも対応できること。また、元号の変更が生じた場合、速やかに対応ができること。
		3	共通	水道料金、下水道使用料の料金算出ができること。
		4	上水	上水道、簡易水道の事業管理が可能であり、事業ごとに水量の集計分析等が行えること。
		5	下水	公共下水道以外の複数の事業管理が可能であり、事業ごとに集計分析等が行えること。
		6	共通	督促手数料、開閉栓手数料、臨時メーター使用料の管理等ができること。
		7	共通	開閉栓予定件数などが検索画面で検索することで把握できること。
		8	共通	開閉栓予定・滞納整理の未対応のまま予定の期日が過ぎた場合、画面上で確認できること。
2	システム構築について	1	共通	データの保存年限は、処理年度を除き5年間以上とし、随時参照可能なこと。また、未納情報は、不納欠損や債権放棄処理を行うまで保存できること。
		2	共通	バックアップ処理を自動で行うことができ、システムの障害発生時に迅速な復旧が行えること。
		3	共通	料金改定や税率変更後も、旧料金体系と新料金体系の複数管理が可能なこと。
		4	共通	システムで検索抽出したデータは、Excelファイルで出力可能なこと。また、帳票に関する処理においては、Excel出力・PDF出力機能を標準で備えてあること。
3	処理形態	1	共通	納付書等はA4サイズ圧着用紙の形で印字可能なこと。
4	操作	1	共通	わかりやすい画面構成で初心者でも操作ができるように配慮されていること。
		2	共通	帳票類等の印刷物にプレビュー画面を設け、出力できること。
5	セキュリティ	1	共通	担当者ごとにパスワード設定ができること。
		2	共通	担当者ごとに権限設定ができること。
		3	共通	ログが記録されること。
		4	共通	異動処理や更正等の操作を行った担当者の操作記録（担当者・実行時間・操作内容）が全て残ること。
6	管理項目	1	上水	上水道事業が管理できること。複数事業別（地区別、種類別（上水道、簡易水道））に管理できること。
		2	上水	異なる料金単価の複数の上水道、簡易水道が管理できること。

No.	項目	分類	内容		
6	管理項目	3	上水 上水道の異動日付が管理できること。開栓日・閉栓日・調定年月日の管理ができること。		
		4	上水 上水道の料金を口径別、用途別での管理ができること。		
		5	下水 下水道事業が管理できること。複数事業（セグメント単位）が管理できること。		
		6	下水 異なる料金単価の複数の公共下水道、農業集落排水等を管理できること。		
		7	下水 下水道の異動日付が管理できること。開栓日・閉栓日・調定年月日の管理ができること。		
		8	共通 使用者情報・所有者情報・送付先情報・支払者情報（住所・方書・氏名・電話番号）の管理ができること。		
		9	共通 電話番号種別として固定電話、携帯電話等複数の電話番号の管理が可能なこと。		
		10	共通 収納情報（金融機関・支店・種別・口座番号・口座名義人）の管理ができること。		
		11	共通 希望者に対して口座振替済領収書の発行ができること。		
		12	共通 開閉栓、メーター交換、名義変更、口座変更の変更履歴（変更年月日、変更内容詳細）が確認できること。		
		13	上水 業態別（家庭用・営業用・学校用・病院用・工場用など）の管理ができること。		
		14	共通 メーター情報（メーター種別・口径・メーター番号・有効期限・交換時新旧指針・指針桁数・メーター位置・図面番号）の管理ができること。		
		15	上水 水栓情報として水栓設置場所のほかに所有者の氏名、住所、方書、電話番号が管理可能なこと。		
		16	下水 下水道情報として用途、汚水種別、排水区域、井戸、排水設備番号、図面番号、施工業者等の管理が可能なこと。		
		17	下水 汚水量の調整パターンとして検針水量に加減算、指定水量適用、固定水量適用等種々のパターンを有すること。		
		18	下水 汚水量として複数栓の水量を合算するパターンにも対応可能なこと。		
		19	下水 親子メーター情報を管理できること。（特定集合住宅の親メーターと子メーターの水量の計算）		
		20	共通 検針担当者及び担当地区の登録・変更が容易にできること。		
		21	共通 郵便番号と住所の登録・変更ができ、郵送用住所、方書、氏名、電話番号の管理が可能なこと。		
		22	共通 アパート名と郵便番号と住所の登録・変更ができること。		
		23	共通 住所入力は全て手入力ではなく簡易な設定が可能なこと。		
		24	共通 水栓番号をキーにして、調定・検針データ登録・照会・修正・削除画面及び収納画面、作表画面へ移動できること。		
		7	異動受付処理	1	共通 各種受付申請ごとに受付情報の入力及び各種依頼書の印字が可能なこと。
		8	新設処理	1	共通 上下水道使用者及び水栓のマスタを新たに登録できること。

No.	項目	分類	内 容
8	新設処理	2 共通	アパート等の新設の場合、使用場所等の入力を簡素化するデータコピー機能があること。
9	問合せ検索	1 共通	上下水道使用者及び水栓の検索ができること。また、検索条件は、条件指定及び複合指定が可能なこと。
		2 共通	検索結果はExcelに出力できること。
		3 共通	検索条件を任意の範囲で指定できること。また、前方一致検索、あいまい検索などの検索ができること。
		4 共通	検索条件は検索後もクリアされず保持可能なこと。
		5 共通	検索処理は、部分検索・複合検索ができること。
		6 共通	検索処理は濁点、半濁点、拗音(カナの小文字)を意識しないように検索が行えること。
		7 共通	過去に検索・照会した水栓の履歴が担当者別に確認でき、再度検索を行わなくても各画面に移動できること。
		8 共通	上下水道使用者を検索後未納月がある場合は、未納金額が画面上でわかりやすく表示されること。
		9 共通	使用者画面において開栓中・閉栓中・給水停止中・廃止などの水栓状態が一目でわかるようにされていること。
		10 共通	様々な情報を入力できるメモ機能があること。
		11 共通	口座振替不能の場合、画面上で振替不能事由を確認できること。
		12 共通	水量、汚水量、調定金額を更正した際、更正金額の増減及び更正事由が画面上で確認できること。
		13 共通	調定明細は、「過去調定全て」と「未納のみ」の表示切替が可能なこと。
		14 共通	水道・下水道別に不納欠損となっている調定が確認できること。
		15 共通	調定更正処理の履歴を保持し、参照可能なこと。
10	発行処理	1 共通	上下水道使用者を検索後、納入証明書などの証明書がシステムより発行可能なこと。
		2 共通	上下水道使用者を検索後、随時納付書が発行できること。
		3 共通	納付書は調定ごとの出力、期間を選択しての出力、金額を指定しての分割出力ができること。
11	検針業務	1 共通	料金システム及び検針機器において、検針順路の変更を、検針員・検針地区単位の検針順路を一覧表示して、前後の水栓を確認しながら変更でき、集合住宅等はまとめて変更できること。また、検針員間の移動や検針地区の分割も容易にできること。
		2 共通	検針機器障害対応として、検針データのバックアップを外部媒体保持できること。
		3 共通	料金システムにおいて、複数メーターの加減算による使用量(汚水量)算定する特殊施設を登録できること。また、登録した施設は、検針時に指針入力のみで料金の自動計算が可能なこと。
		4 共通	料金システムの設定により、検針時の異常水量判定を任意に変更できること。

No.	項目	分類	内 容	
11	検針業務	5	共通	料金システムにおいて、下水道（井戸）メーター使用施設を登録できること。また、登録した施設は、検針時に水道メーター、下水道（井戸）メーターごとに検針できること。
		6	下水	料金システム及び検針時に、下水道開始の初回検針時の場合は、下水道開始時指針を考慮した使用量（汚水量）算定ができること。
		7	共通	料金システム及び検針時に、検針漏れのチェックが可能なこと。
		8	共通	料金システム及び検針時に、認定分のチェックが可能なこと。
		9	共通	料金システム及び検針時に、メーター位置の変更が可能なこと。
		10	共通	料金システム及び検針時に、メーター番号・カナ氏名等の検索が可能なこと。
		11	共通	料金システム及び検針時に、検針順に前進、後退の画面展開が可能なこと。
		12	共通	料金システム及び検針時に、メーター交換、メーター一回転等に対応可能なこと。
		13	共通	料金システム及び検針時に、積雪等の認定に対応可能なこと。
		14	共通	検針で出力される使用水量のお知らせは、使用者に見やすくわかりやすいレイアウトであること。
		15	共通	検針時に、検針員から使用者へのメッセージをお知らせ票に出力できること。
16	共通	検針時に、検針員から局へのメッセージ登録ができること。		
12	帳票出力	1	共通	検針担当者ごとに検針予定件数一覧表の印刷ができること。
		2	共通	検針後、水量に著しく変動があった場合のチェック機能があり、その内容を水量チェックリストとして出力できること。
		3	共通	検針結果一覧表・未検針一覧表・水量認定一覧表・異常水量一覧表を出力できること。
		4	共通	検針のお知らせ票が料金システムから印刷できること。
		5	共通	口座振替不能者への通知書が発行・出力できること。
		6	共通	納付書発行者の一覧表が出力できること。
		7	共通	途中閉栓者の精算金額を通知書出力できること。
		8	共通	調定年月での範囲指定集計等ができること。
		9	共通	決算日における調定データを指定し、データ出力ができること。
		10	共通	電子公印が出力できること。
		11	下水	井戸使用者へ使用水と使用人数を確認するための案内をはがきで出力できること。
13	調定業務	1	共通	一括調定処理ができ、短時間で処理可能なこと。

No.	項目	分類	内 容
13	調定業務	2	共通 一括調定処理に先行して、上下水道使用者を特定し個別で調定処理ができること。
		3	共通 調定後、納付書発行対象者の納付書が一括発行できること。
		4	共通 口座振替情報を金融機関に対してデータ伝送できること。
		5	共通 使用者への請求履歴（口座振替・納付書・督促状など）は全てシステムで確認できること。
		6	共通 口座振替不能者に対し再振替処理ができること。
		7	共通 使用水量及び調定金額の変更履歴を保持できること。
		8	共通 検索後、使用者情報画面、水栓情報画面及び調定、収納、未納状況画面に移動できること。
		9	共通 任意に上下水道の調定額が変更できること。変更理由も併せて更正履歴を管理できること。
		10	下水 過年度に遡る調定を現年度に追加計上できること。
		14	収納業務
2	共通 金融機関別口座振替集計表の印刷を行えること。		
3	共通 使用者から料金の支払があった収納日と金融機関から新発田市水道事業の口座に振込まれた入金日の2つの日付が管理できること。		
4	共通 納付書の消込はバーコードリーダ、手入力のいずれの消込方法でも可能であること。また、消込データチェックリストが出力できること。		
5	共通 口座振替データを金融機関から受領の上、システムでの消込ができること。		
6	共通 口座振替結果集計表が金融機関別に集計・出力できること。		
7	共通 口座振替不能者一覧表及び口座振替不能者通知書を発行できること。		
8	共通 コンビニエンスストア収納代行から送信される速報データ、確定データにより一括で収納処理が可能なこと。		
9	共通 コンビニエンスストア収納結果（速報・確報データ、取消データ）が検索、照会できること。		
10	共通 コンビニエンスストア収納結果の統計資料が出力可能なこと。		
11	共通 コンビニエンスストア収納用に各種通知書にはGS1-128のバーコードの印字が可能なこと。		
12	共通 仮消込可能で、使用者の支払が即時に把握できること。		
13	共通 過誤納分について一覧表が印刷できること。		
14	共通 金融機関の登録・変更ができること。		
15	共通 納入通知書兼領収書及び一覧表等の帳票は、ページ範囲指定により全体またはその一部を選択して出力が可能なこと。		
16	共通 消込処理時に重複納付など、正常でないものを識別できるエラーメッセージの表示機能があること。		

No.	項目	分類	内容
15	充当・還付処理	1	共通 重複納付などがあった場合、充当及び還付処理ができること。
		2	共通 還付結果一覧表が出力できること。
16	滞納管理処理	1	共通 調定年月での範囲指定の未納集計印刷が行えること。
		2	共通 督促状・催告状・給水停止予告書・給水停止通知書の印刷が行えること。
		3	共通 分納誓約登録ができること。
		4	共通 訪問予定日を入力することにより、滞納徴収に関するスケジュール管理ができること。
		5	共通 交渉履歴は、過去交渉履歴を確認しながら入力可能なこと。
		6	共通 分納納入通知書はコンビニエンスストア等でも支払できること。
		7	共通 時効管理が適正にできること。
17	統計出力	1	共通 使用水量順位表・調定金額順位表が出力できること。また、水量、金額を指定し、その数値以上の使用者一覧表が出力できること。
		2	共通 地区・用途・口径・事業区域別の水量段階集計表が出力できること。また、税抜き、税込みを出力できること。
		3	共通 地区・用途・口径・事業区域別に、用途に応じて自由に組合せて集計表が出力できること。
		4	共通 段階別統計表の段階変更が簡単に行えること。
		5	下水 使用水量順位表・調定金額順位表で年度比較ができること。
18	給水受付処理	1	上水 給水装置工事の新設、改造の管理が可能なこと。
		2	上水 設計審査手数料、加入金等の納入通知書兼領収書の発行ができること。
		3	上水 調定一覧、収納一覧、未納一覧が出力できること。
		4	上水 新設した給水装置は、新規の水栓番号が自動的に作成されること。
		5	上水 発行した納入通知書を消込できること。
		6	上水 業者別のリスト等各種帳票が出力できること。
		7	上水 竣工検査や立会い等のスケジュール管理ができること。
		8	上水 工事申込において、貯水槽の新設・変更・廃止のチェックができること。
		9	上水 指定給水装置工事事業者に係る管理ができること。
		10	上水 水道法に基づく指定給水装置工事事業者の更新業務を円滑に行うことができること。また、給水装置工事指定事業者証の出力ができること。
		11	上水 給水装置工事主任技術者の管理ができること。

No.	項目	分類	内 容
18	給水受付処理	12	上水 工事申込において、各種道路占有や公共財産等使用の有無のチェックができること。
		13	上水 工事申込において、三階直結給水の有無のチェックができること。
19	メーター管理処理	1	上水 メーターの製造メーカー・口径・型式・メーター番号・検定満期期限・購入額等が管理できること。また、入出庫の状況管理ができること。
		2	上水 撤去、廃止等の管理や各種帳票が出力できること。
		3	上水 受払簿、取付内訳、除却等の各種帳票が出力できること。
		4	上水 メーター番号等を使用者情報と結び付けできること。
20	メーター交換業務	1	共通 メーターの検満年月日を和暦、西暦両方で管理できること。
		2	共通 メーター交換対象者を地区別単位で帳票出力が可能なこと。
		3	共通 メーター交換に必要な伝票出力等をシステムで行えること。
		4	共通 メーター交換データ入力、手入力、Excelデータ取込のいずれかにより効率的に対応できること。
		5	共通 検満年月指定、口径・型式別に交換予定の帳票の印刷が行えること。
21	毎月請求選択制度	1	共通 納付書一括発行時に、隔月請求対象調定は調定額全額で発行し、毎月請求初回請求は調定額の半額（端数含む。）、毎月請求後月請求は未納額の全額を自動的に抽出して発行できること。
		2	共通 口座振替データ作成時に、隔月請求対象調定は調定額全額でデータ作成し、毎月請求初回請求は調定額の半額（端数含む。）、毎月請求後月請求は未納額の全額を自動的に抽出してデータ作成できること。
		3	共通 口座振替データ作成時に、隔月請求対象調定は調定額全額でデータ作成し、毎月請求初回請求は調定額の半額（端数含む。）、毎月請求後月請求は未納額の全額を自動的に抽出して口座振替データを帳票印字・Excel出力できること。
		4	共通 口座振替による毎月請求後月請求で振替不能の場合、再振替をしないこと。
		5	共通 毎月請求選択施設であっても、初回請求時等の1か月単価計算された小額請求時は、毎月請求としないこと。
		6	共通 検針のお知らせ票では、毎月請求の使用者には、初回請求・後月請求の予定を印字すること。
		7	共通 検針結果をハガキでお知らせする「上下水道使用水量のお知らせ」では、毎月請求の使用者には、初回請求・後月請求の予定を印字すること。
		8	共通 口座振替結果をハガキでお知らせする「口座振替済のお知らせ」には、隔月・毎月請求のそれぞれに適切に記載すること。
		9	共通 口座再振替をハガキでお知らせする「再振替のお知らせ」には、隔月・毎月請求のそれぞれに適切に記載すること。
		10	共通 毎月請求初回請求時及び毎月請求後月請求時の納付書発行日・納入期限日・口座振替日・再振替日などを管理できること。
		11	共通 照会画面上で毎月請求選択施設となっていることが表示されること。
		12	共通 照会画面の実績情報でも、各調定月単位に毎月請求を選択されているか否かの表示がされること。

No.	項目	分類	内 容	
21	毎月請求選択制度	13	共通	毎月請求施設を検索可能なこと。また、検索条件は、条件指定及び複合指定が可能なこと。
		14	共通	毎月請求選択施設も滞納切替処理に対応していること。
22	調定計算	1	共通	水道・下水道の各調定計算は、条例に基づき計算すること。
		2	共通	「共同住宅における集合料金算定及び料金の納入に関する契約書」を締結する施設について、使用水量を共同住宅の世帯数で按分し、按分した水量を基に料金を計算できること。
		3	共通	水道・下水道の使用開始から初回検針日までが7日以内の場合は、調定対象外として扱い、請求は次回に繰越す措置が自動的に行われること。
		4	共通	水道・下水道の使用開始から精算日までが7日以内の短期使用の場合は、基本料金を半額とすること。
		5	下水	下水道使用料の算出にあたり、井戸水使用の場合は、井戸使用人数から算出される比較水量と実際の使用水量を比較し、多い水量に基づき料金計算を行うこと。
23	認定検針明けの再計算	1	共通	積雪・障害物などの理由を問わず検針時にメーターの指針を実測できない場合は、過去水量に基づく認定量で料金計算を行うこと。また、認定明けの検針でメーターの指針を実測できた場合は、認定期間中の総使用量を各月で按分し再計算した調定額の合計から、認定期間中の調定合計額を差し引いた金額を認定明けの調定額として水道・下水道ごとに調定計上すること。
		2	共通	認定明けの再計算が行われた実績情報を保存すること。
		3	共通	検針結果をお知らせする検針票では、認定明けの再計算金額を概算金として印字すること。また、認定期間中に過剰請求していた場合は、以降の検針で充当が完了するまで、充当差額を概算金として印字すること。
		4	共通	認定明けの調定計算時に認定明けの再計算を行うこと。また、認定期間中に過剰請求していた場合は、以降の調定で充当が完了するまで、充当差額を調定金額として計上すること。
		5	共通	認定明けの再計算が行われた実績情報を水道・下水道別々に印刷又はExcel出力できること。また、未充当・充当中・充当済みの状態を抽出できること。
		6	共通	調定集計帳票では、充当となったマイナス調定額を加味した集計が行えること。
		7	下水	上水道と井戸水の併用世帯で上水道を認定した場合、汚水量の算定は上水道認定明け後に井戸使用人数から算出される比較水量と実際の使用水量を比較し、多い水量に基づき精算を行うこと。
24	コンビニエンスストア収納 現収納代行業者：(株)しんきん 情報サービス	1	共通	収納代行業者から受信する速報・確報・速報取消データを、料金システム内に取込・消込等が行えること。
		2	共通	納付書・督促状・催告状・分納誓約用納付書に印字する様式及びGS 1-1 2 8のバーコードは収納代行業者に対応したものを発行できること。
25	その他	1	下水	井戸水使用施設の井戸使用人数を住民基本台帳から参照・取得するためのキー情報を保持できること。また、保持したキー情報を住民基本台帳と照合可能なこと。
		2	下水	発注者の提供する住民基本台帳のデータを基に、井戸使用人数を住民基本台帳の人数に一括更新可能なこと。
		3	下水	発注者が提供する住民基本台帳のデータを基に、井戸水使用施設の井戸使用人数を一括更新できること。

No.	項 目	分類	内 容	
25	その他	4	下水	特定処理分区に属する施設の事業区分等を他事業区分等に一括変更できること。
		5	共通	施設に関する全情報をデータ利用できるように、特定条件でExcel出力できること。
		6	共通	口座振替データ作成時に、特定滞納者は口座振替を行わないようにデータ抽出から自動的に除外できること。
		7	共通	納入通知書等の請求書のレイアウト等は、区分記載請求書等保存方式及び適格請求書等保存方式に対応していること。
		8	共通	使用者情報照会時に、使用者に関する注意事項等を自動ポップアップできること。
		9	上水	受水槽の使用量と各戸の使用量合計をチェックする帳票が出力できること。
		10	共通	新発田市役所で管理する各施設の上下水道料金を、新発田市の指定するデータレイアウトで一括Excel出力できること。
		11	上水	料金改定シミュレーション用に、指定した過去調定年月の用途・口径・使用日数等の計算基礎となる情報から、シミュレーション用単価に基づいた料金計算を行い、その結果をExcel出力できること。
		12	上水	料金改定シミュレーション用に、地区・用途・口径・事業区域別の累計水量段階集計表が出力でき、集計する水量段階を任意に変更できること。また、税抜き、税込みを出力できること。
		13	下水	使用料改定シミュレーション用に、指定した過去調定年月の用途・使用日数等の計算基礎となる情報から、シミュレーション用単価に基づいた料金計算を行い、その結果をExcel出力できること。
14	下水	使用料改定シミュレーション用に、地区・用途・事業区域別の累計水量段階集計表が出力でき、集計する水量段階を任意に変更できること。また、税抜き、税込みを出力できること。		